

平成 26 年 度

旭丘中 学校便り

第 8 号

練馬区立旭丘中学校：発行 1 2 月

「冒険心」と「適度な貧困」

校長 山 谷 安 雄

先日、JAXA の的川泰宣さんの「この国とこの星の子どもたち」という講演を機会があつて聞きました。同じ内容を映画では西田敏行主演で「はやぶさ」で上演されましたが、講演の話の方が感動的でした。このときの話をしたいと思います。

まず、宇宙に出ることがいかに難しいことか、アメリカやロシアの宇宙ロケットの成功確率はおよそ 97% だそうです。この数字は、高いか低いかですが、30 回飛ぶと 1 回墜落するということです。もし、そのような飛行機があつたら誰も乗りません。しかし、日本の宇宙飛行士を初め世界の宇宙飛行士は進んで乗り込もうとします。先日、国際宇宙ステーションに物資を送るアメリカの輸送船が発射に失敗しました。これは、ロケットの燃料を送るポンプの一つの不具合が原因だったようです。大変な数の部品の一つが不具合を起こすと故障につながってしまいます。

さて、「はやぶさ」のミッションを成功させたのは、日本人に 3 つの心があつたからと言っていました。一つ目が、好奇心です。「はやぶさ」の発案者は、太陽系の始まりはいつなのかを調べることが目的でしたが、参加する人の宇宙を目指す目的はそれぞれ違っていました。共通しているのは、科学者たちの猛烈な好奇心と技術者たちの闘争心と夢でした。二つ目は、冒険心です。日本にできるはずはないと、日本人や世界の人のほぼ 100% の人が思っていたことに対する挑戦でもあります。三つ目は、匠の心です。技術において「創りたい」という日本人の職人の心です。「はやぶさ」は様々なアクシデントで地球に戻るのが数年遅れました。それぞれの部品には耐久年限というものがあつたそうです。今回、故障したイオンエンジンの弁や姿勢制御用ジェットやジャイロコマは、経費の関係でアメリカの大量生産された製品を使っていたそうですが、アメリカの製品は耐久年限が過ぎると次々に故障していったそうです。しかし、日本の職人が作ったものは、耐久年限がすぎてもほとんど壊れなかつたそうです。日本の製品は、耐久年限以上に丈夫に作っているということです。今回帰還できたのも日本製であつたからだと思えます。

また、『日本のものづくりの素晴らしさ』と『適度の貧困と未来への高い志』が今回のミッションの成功の陰にはあつたそうです。「はやぶさ」の作成経費は約 130 億円だったそうです。もし、アメリカが同じものを作ると 500 億円かかるだろうと NASA では言っています。そのうえ、パーツごとに丸投げして作るので宇宙船は 500kg では、収まらない巨大なものになり、イオンエンジンではなく、ジェット噴射で推進し、とても戻ることができないものになってしまいます。さて、我々の世代が育つた日本は適度な貧困状態だったと言えます。テレビも故障すると人が手でその部分を修理しました。今は、壊れるとパーツ交換になります。「はやぶさ」は、一つのロボットの様に作られているので、イオンエンジンが壊れたり、ジャイロコマが壊れたりした場合は、故障箇所を回避する回路を全員で考えることができたようです。また、宇宙は未知な部分が多く、あらゆる可能性を想定して考える必要もでてきます。原子力発電所の方と危機管理について話し合ったときに、想定したことに対する対応を考えていることに違和感を感じたそうです。

私は、特に「適度な貧困」と「冒険心」が心に残りました。今の子どもたちに必要なことなのですが、残念ながら、子どもたちにはないものです。意識して子どもたちを育てたいと思います。

《生徒の活動の様子》

○部活動

- ・野球部 11月30日（日）に区民大会の決勝が行われました。
武蔵中学校と対戦して見事3対2で勝ち優勝しました。

○練馬区駅伝大会が開かれました。

バスケ部とサッカー部が中心になって旭丘中学校の代表として、参加しました。

○1年生で、舞台演出家を招いて芸術表現体験を通して道徳を学ぶ試みをしました。

【体を動かしての集団活動】⇒



○11月21日（金）本校グラウンドで自転車安全教室を行いました。スケアード・ストレイト方式による安全教室は、「恐怖を直視させる」という意味です。見ている人を恐れさせることによって好ましくない行為をさせない教育の一つです。



【トラック左折時の自転車の巻き込み】

スタントマンの真に迫った演技で思わず、本当に怪我をしたのではないかと思う場面もありました。

【乗用車左折時の自転車との衝突】

《学校の取り組み》

○11月18日（火）に校区別協議会を開きました。旭丘小学校で3校（旭丘小、小竹小、旭丘中）の先生方が集まって、様々な情報を交換しました。

○11月26（水）本校でアレルギー研修会を行いました。生徒がアナフィラキシーを起こしたときにどのように対応するか、生徒役と先生役等に分かれて動きを確認し、課題を話し合いました。

《これからの行事》

- ・12月26日（金）～7日（水）冬季休業
10日（土）練馬区生徒作品展（練馬区美術館）14日まで